

## 編集後記

共通教育に「情報処理（演習）」が組み込まれ2年半が経過した。昨年までのプリント版のテキストから今年は教科書（共立出版）になった。情報処理分科会有志の協力の成果である。書名は「はじめてのコンピュータ リテラシー -パソコン&ワークステーション-」である。”リテラシー”は辞書によると”読み書きの能力”とある。コンピュータといえはすぐ”計算”を思い浮かべ、どの言語を使うかに頭のいく者にとってみるとずいぶん様変わりした。コンピュータが日常生活に溶け込んできた現れであろう。授業を受ける学生諸君の反応はいかがなものか、どなたか率直な意見を投稿して下さい。

コンピュータなかでもPCの発展はめざましい。ひと昔が2～3年である。センターのPCはどうも古くていかんという声を耳にする。1年も経てば旧タイプと言われかねない。さらにPCもOSなしでは機能しない。長く親しんだDOSからWINDOWS 3.1に変わりずいぶん使い易くなった。これが現在のセンターのPCのOSです。ところが今はWINDOWS 95が主流である。やっかいなことにこれもいつ過去のものになるか分からない。いまセンターでは機器更新に向けて検討作業が急ピッチで進んでいる。OSを含めて時代に即応することを期待したい。いつも最新の環境を学生に提供できるように。

今回は夏季休業中に発行出来るよう計画しましたが、かなり遅れてしまった。予定に合わせて投稿いただいた著者には迷惑をお掛けしました。大学改革にからみ何かと多忙な時期ではありましたが、発行時期を含め投稿しやすい「HIROIN」にもって行く必要を痛感しました。

(川口節雄)

弘前大学総合情報処理センター  
教育広報専門委員会

川 口 節 雄 (理工学部, 委員長)  
笠 原 幹 (人文学部)  
太 田 誠 耕 (教育学部)  
市 村 雅 一 (理工学部)  
三 上 聖 治 (附属病院)  
石 川 隆 二 (農学生命科学部)